認定様式第5号

訓練カリキュラム

訓練実施機関名：　大阪綜合福祉株式会社

（様式A-9）

訓練の種別		基礎コース　（　　）				就職を想定する職業・職種
	✔	実践コース　（　05 介護・医療・福祉分野　）				
		職場復帰支援コース（※基礎コースのみ）		託児サービス支援付訓練コース		短時間訓練コース
		「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入				
訓練科名	介護職員実務者研修科　※40文字以内で記入してください。					老人福祉施設・障害者福祉施設職員
募集期間（予定）	令和6年11月1日　～　令和6年11月21日					
選考日（予定）	2024/11/31					
選考方法	✔	面接		筆記試験		その他（　　）
選考結果通知日	令和6年12月8日					
訓練期間	令和6年12月25日　～　令和7年6月24日　（6　か月）　（訓練日数　105　日）					
訓練時間	9　時　00　分　～　15　時　50　分				訓練定員	12　名
訓練対象者の条件	特になし					
訓練推奨者（特定の者を想定する場合のみ）		新規学校卒業者		ニート等の若者		障害者		母子家庭の母等
		被災者		外国人		その他（　　）		
訓練目標（仕上がり像）	介護事業所において、利用者の状況に応じた訪問介護及び施設介護が出来る。					
訓練修了後に取得できる資格	名称（介護福祉士実務者研修修了証）認定機関（大阪綜合福祉株式会社）					任意受験
	名称（全身性障がい者移動支援従業者養成研修課程修了証）認定機関（大阪綜合福祉株式会社）					任意受験
	名称（　　）認定機関（　　）					任意受験
	名称（　　）認定機関（　　）					任意受験
	名称（　　）認定機関（　　）					任意受験
IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置の適用に係る希望の有無（適用を希望する場合のみ「○」を記入）						
WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置の適用に係る希望の有無（適用を希望する場合のみ「○」を記入）						

訓練内容

訓練概要：利用者の尊厳から自立支援に至る介護職員の心構え、法制度の理解、介護支援と人間の基本的欲求等の知識を習得し、利用者、家族に対してチームや地域と連携し、利用者の自立支援に生かす。

	科目	科目の内容	訓練時間
学科	開講式等	開講式・オリエンテーション(1H)/修了式(2H)	
	人間の尊厳と自立	尊厳の保持、自立自律の支援、ノーマライゼーション、プライバシー保護	5時間
	社会の理解Ⅰ	介護保険制度	5時間
	社会の理解Ⅱ	生活の適応技能、社会生活を送る中での生活と福祉、制度の発達体系財源、自立支援内容	30時間
	介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護、法制度	10時間
	介護の基本Ⅱ	高齢者、障害者、チームの役割安全確保、介護士の健康、安全対策	20時間
	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーションの基本、技術、技法、チームの情報共有化	20時間
	介護過程Ⅰ	介護過程、計画、チームの情報共有	20時間
	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴うこころ、からだの変化と日常生活への影響	10時間
	発達と老化の理解Ⅱ	人間の発達、老年期、高齢者に多い症状、疾病	20時間
	認知症の理解Ⅰ	認知ケア、生活、支援の関わり方の基本	10時間
	認知症の理解Ⅱ	認知症の医学的側面、人や家族、地域ｻﾎﾟｰﾄ体制	20時間
	障害の理解Ⅰ	障害者福祉理念、生活の特徴、支援の基本	10時間
	障害の理解Ⅱ	障害者の医学的側面、障害者や家族支援、地域サポート体制	20時間
	こころとからだのしくみⅠ	介護に関係した身体の構造、機能に関する基本的知識	20時間
	こころとからだのしくみⅡ(学科)	人間の心理、人体の構造と機能に関する基本的知識	30時間
	安全衛生	心身の衛生、安全管理	2時間
	医療的ケア	医療的ケアの基礎	60時間
	全身性障がい者移動支援	障害者(児)の福祉制度、移動支援従業者の業務、職業倫理と人権、障害者の理解・心理、移動介助の基本的知識	12時間
	生活支援技術Ⅰ	ICF、介護の原則、介護技術の基本、環境整備	20時間
	生活支援技術Ⅱ	移動、移乗・食事・入浴、清潔保持・排泄・着脱、整容、睡眠時、終末期に利用者の心身に合わせた介護	30時間
	介護過程Ⅱ	情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し	25時間
	介護過程Ⅲ	知識、技術を総合的に活用した介護計画の立案、系統的な介護の提供	45時間
	こころとからだのしくみⅡ(実技)	身体の仕組み・心理・認知機能を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・他職種との連携	30時間
	医療演習	医療的演習(喀痰吸引、経管栄養総合モデルで実施)	12時間
	事前演習	企業実習の目的、介護業務の方法、留意事項、実習記録の書き方と実践	6時間
	事後演習	企業実習の目標及び計画の達成状況、介護職員の職務、記録の書き方、振り返り	6時間
	全身性障がい者移動支援(演習)	車いすの移乗、外出時の排泄、食事、衣服の着脱、車いすの取り扱い、交通機関利用の介助演習	12時間
企業実習		実施しない　✔ 実施する　※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。	84時間
職場見学、職場体験、職業人講話		【職業人講話】職場での心構え、失敗・成功話(6H×1)(株)愛倭園、NPO法人泉ひまわりの会（6H×1)(株)ﾗｲﾌﾊﾟｰﾄﾅｰ、岸和田市民生委員	12時間
		【職場見学】利用状況、施設の概要(6H×1)	6時間
		社会福祉法人光生会(ﾋﾟｰﾌﾟﾙﾗｲﾃｨﾝｸﾞｽｸｰﾙ泉北、ﾋﾟｰﾌﾟﾙﾊｳｽ忠岡、岸和田採光学園、岸和田光が丘療護園・学園)	
訓練時間総合計	612時間	学科　324時間　実技　186時間　企業実習　84時間　職場見学等　18時間	
受講者の負担する費用		教科書代　16,500円	
		その他（移動支援従業者演習に係る交通費）　320円	合計　16,820円
		備考（企業実習・職場見学の交通費・健康診断料・法定講習欠席に係る補講費は実費）	

指導方法

訓練形態（個別指導・補講を除く）	✔ 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する
	オンラインによっても指導する（当該日通所可能・混在型）　オンラインによっても指導する（当該日通所不可・単独型）　オンライン計　#REF!
施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	開講式時のオリエンテーションにて、施設や教材をいつでも使用できるように案内を行う。講義後に受講者だけのミーティングにも使用された実績も多い。
受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	休憩時や講義後の相談、キャリコンなどで気軽に相談できるように日頃から話をしています。

※1　企業実習を予定している場合は、様式第10～12号を作成のうえ提出してください。
※2　様式第6号の「日別計画表」を添付してください。
※3　訓練推奨者欄には、特に訓練を推奨する対象がある場合に、当てはまるもの全てのチェック欄（□）に✓を記入してください。
「その他」の場合は、「訓練対象者の条件」欄に内容を記入してください。特にない場合はチェックは不要です。
※4　「職場体験」、「職業人講話」、「職場見学」については、それぞれの時間数が分かるように記入してください。
※5　訓練時間には、キャリアコンサルティング等の時間は含まれませんので、除いて記入してください。

（令和4年12月2日以降に開講する訓練科から適用）